

# 議会だより

2015.11.1

長生村議会

検索



地震・津波避難訓練  
(一松北部コミュニティセンター屋上の様子)



村の木「ラカンマキ」

## 議会定例会 7月・9月会議

### 主な内容

- 定例会で決まったこと \_\_\_\_\_ 2
- 一般質問(4名) \_\_\_\_\_ 5
- 議会活動の報告 \_\_\_\_\_ 9

発行：長生村議会 編集：議会だより編集特別委員会



村の花「ハマヒルガオ」

# 議会定例会 9月会議

平成27年9月会議を、9月15日から17日までの3日間で開催しました。

本会議では、報告5件、認定5件、同意1件、議案12件、請願1件、発議案1件が上程されました。

一般質問では、4人の議員が村の施政を質しました。

## 平成26年度決算審査特別委員会を設置

平成26年度一般会計および4つの特別会計の決算認定議案が、監査委員の意見を付して上程されました。

議員による総括質疑をおこない、のちに決算審査特別委員会が設置され、7人の委員が決まりました。

- 委員長 鈴木 征男
- 副委員長 山口 裕之
- 委員 立川 智浩
- 委員 石川 吉一
- 委員 矢部 眞男
- 委員 阿井 市郎
- 委員 中村 秀美

なお、監査委員の意見書概要は次のとおりです。

### 監査委員の意見要旨

#### 一般会計

村税については、担税力

調査を進め、不納欠損額は増えたが、収入未済額の減少は徴税努力の成果として評価できる。

固定資産税の過年度繰越分は村税の大半を占めている状況に変わりはない。

村税以外にも保育料や学校給食費などに収入未済額が発生している。

さらなる収入未済額の減少に努められたい。

#### 国民健康保険特別会計

現年度分および過年度分ともに収納率が向上したが、収入未済額が多額であることから、引き続き収入未済額の減少に努められたい。

#### 公共下水道事業特別会計

分担金および負担金については収納率が向上している

るが、使用料の収入未済額の増加傾向に変化はなく、一層の徴収努力をおこない収入未済額の減少に努められたい。

#### 介護保険特別会計

保険料の不納欠損額および収入未済額がともに増加傾向にある。

歯止めをかけるためにも事業の周知徹底をはかり、制度の理解を深め、収納率の向上に努められたい。

あわせて介護予防事業の一層の充実をはかり、経費の削減に努められたい。

#### 後期高齢者医療特別会計

保険料について、収入未済額が増加しているうえ、不納欠損額も発生している。

さらなる徴収努力に努め、収入未済額の減少に努められたい。

## 平成26年度 主要施策成果説明書 (抜粋)

事業	事業費 (千円)	事業内容
津波避難施設整備事業	253,150	一松地区に津波1次避難場所として、避難施設3カ所と施設への連絡道路を整備(総事業費659,573千円:うち406,423千円を平成27年度に繰越)
旧長生高等技術専門学校施設管理事業	24,833	旧長生高等技術専門学校跡地内の老朽化した体育館及び附属施設の解体工事を実施
放課後児童対策事業	25,413	平成26年度から、小学校4年生以上の学童保育所の保育料を月5千円に減額
予防接種事業費	29,865	平成26年度から、中学3年生を対象としたインフルエンザ予防接種助成事業を追加
家庭用LED照明器具購入リフォーム事業補助金	6,486	家庭用LED照明器具を購入した村民に補助金を交付
地籍調査事業	68,127	平成35年度の完了を目指し、平成26年度から実施計画に基づいて、村内全域の地籍調査を進める
学習支援員等設置事業	18,914	学力向上のため、各小中学校に学習支援員と介助員を配置



## 一般会計補正予算を可決

既定の予算に歳入歳出それぞれ6993万1千円を追加し、予算総額56億7421万8千円とする補正予算を可決しました。

### 主な歳入

◎地域防災力向上総合支援補助金 289万7千円

◎前年度繰越金 5375万5千円

◎臨時財政対策債 1119万6千円

### 主な歳出

◎公用車管理運営費

老朽化の著しい公用車1両を環境に配慮したハイブリッド車に更新するための経費です。

584万2千円

◎臨時福祉給付金給付事業

平成26年4月の消費税率引上げによる影響を緩和するため、児童手当受給者や住民税非課税者など、所得が低い方々に対して暫定的に支給されたもので、前年度の事業実績が確定したため国に返還するものです。

1436万1千円

◎生活排水処理施設維持管理費

七井土・岩沼地区の下水道処理施設の修繕に要する工事費です。

647万2千円

◎経営体育成支援事業補助金

新規就農者や営農組織など、意欲ある経営体が経営規模の拡大や多角化をはかっていたために必要な農業用機械の整備等の経費を国が支援するものです。

285万3千円

◎防災対策事業

千葉県の地域防災力向上総合支援補助金を活用し、自主防災組織の育成やハザードマップの作成など、自助・共助の取組を迅速に進めていくための経費です。

669万円

## 監査委員の選任を同意

平成27年9月19日で任期満了となる監査委員に、引き続き細谷基行氏を選任することに同意しました。

同氏は、優れた人格・識見をもち、監査委員として適任であると認められたものです。



細谷 基行氏

## 手数料徴収条例の一部改正を可決

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行により、長生村手数料徴収条例の一部を改正する条例案を可決しました。施行日は平成27年10月5日です。

## 下水道管渠建設工事請負契約締結を可決

新地地先の下水道管渠建設工事について、落札者との工事請負契約を可決しました。

○工事名

長生村管渠建設工事

○契約の相手方

大昌建設株式会社

代表取締役 岡本俊仁  
長生村金田2695番地  
○契約の方法  
指名競争入札

○契約の金額  
5292万円  
○工期  
平成28年3月18日まで

## 議会定例会7月会議

### 損害賠償請求事件に関する調停案の受諾

長生中学校校舎増改築工事に係る屋根損壊事故の損害賠償請求事件に関して、協議が調わないことから、一宮地方裁判所調停委員会から示された調停案の受諾について、付帯決議を付して可決しました。

### 固定資産評価審査委員の選任を同意

②シリコン系シーリング材の本来の用途は接着材ではないため、経年劣化が起る。したがって周辺住民、生徒の安全性の観点から、定期的な屋根の点検は更に5年間の延長を望む。

### 調停案の骨子

- ①被告らは村に解決金120万円を支払う。
- ②屋根材浮き上げ防止としてビス固定する。
- ③屋根材の重ね部にシーリング材を充填する。
- ④今後5年間定期的な点検をおこなう。

### 付帯決議

①村が事故原因の究明ができない以上、調停案は妥当と認めざるを得ない。



大野 博志氏

固定資産評価審査委員の退職による後任者に、大野博志氏を選任することについて同意しました。同氏は、優れた人格・識見をもち、固定資産評価審査委員として適任であると認められたものです。

## 9月会議の審議結果一覧表

議案番号	件名	審議結果	
報告第4号	専決処分した事件の報告について (公用車の事故に関する和解及び損害賠償額の決定について)	決算審査特別委員会 へ付託	
報告第5号	専決処分した事件の報告について (一松海岸災害応急復旧工事に係る一般会計補正予算(第2号))		
報告第6号	継続費の継続年度終了による精算について (平成25・26年度の2カ年で実施した子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料の精算)		
報告第7号	平成26年度長生村健全化判断比率の報告について		
報告第8号	平成26年度長生村公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について		
認定第1号	平成26年度長生村一般会計歳入歳出決算の認定について		
認定第2号	平成26年度長生村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第3号	平成26年度長生村公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第4号	平成26年度長生村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第5号	平成26年度長生村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		
同意第2号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意	全員一致
議案第40号	長生村個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議案第41号	長生村行政手続条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全員一致
議案第42号	長生村職員定数条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全員一致
議案第43号	長生村一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全員一致
議案第44号	長生村手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議案第45号	工事請負契約の締結について	原案可決	全員一致
議案第46号	特定下水道工事の代行の要請について	原案可決	全員一致
議案第47号	平成27年度長生村一般会計補正予算(第3号)	原案可決	賛成多数
議案第48号	平成27年度長生村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全員一致
議案第49号	平成27年度長生村公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全員一致
議案第50号	平成27年度長生村介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全員一致
議案第51号	長生都市計画下水道事業長生村公共下水道事業計画認可について	原案可決	賛成多数
請願第3号	「安保関連法案」に反対する意見書提出を求める請願	不採択	賛成少数
発議案第6号	村長の専決処分事項の指定についての一部改正について	原案可決	全員一致
	議員派遣について	原案可決	全員一致

# 中学校本校舎の将来的な安全・安心確保を

関 克也 議員

議員

台風による長生中学校新校舎屋根損壊事故後の対応について、台風前の点検、定期点検の5年間の延長は、調停で認められなかったとのことだが、来年10月以降の点検はどうするのか伺います。

学校教育課長

村の予算で点検をしていきたいと考えています。

議員

村が訴訟で要求した事項（設計図書どおりの工事）について、今でも間違いではなかったと考えていますか。

学校教育課長

間違いはなかったと考えられています。

議員

今の時点で解明されている事実をもとに、村が事故原因を究明することが大事です。

事故当時、原因究明をせずに応急工事で済ませたところが問題で、このまま見過ごすなら前村長と同じ立場に落ち込むのではないか。

村長

日本建築検査協会に委託して調査させた結果、現況においては一定の安全性は確保しているという結果が出ています。

議員

その調査結果の追記には「復旧工事はおこなわれたが現行屋根面はでこぼこ状態であり、また、屋根葺き材の隙間はばらつきがある」そのほかに隙間部分の

シーリングをおこなっているが、シーリング材にあつては8〜10年の耐用年数であるため今後も経過年数に見合った保守管理が必要と思われる」と指摘しているのではないか。

学校教育課長

そのとおりですので、今後とも定期的な検査を継続していきたい。

議員

屋根のモルタル施工工事のやり直しを村の一般財源で実施することが可能であれば、村が実施する必要があるのでないか。

学校教育課長

村の一般財源で実施することは問題ありませんが現在のところ、調査報告書でも一定の安全性が確保されているので、工事は必要がないと考えています。

議員

次に同様の事故を起こさないための対策ですが、なぜ事故後の最初の事故原因の調査で、モルタル不施工による屋根下地の不陸（で

こぼこ）の指摘がされなかったのか、村はどう考えていますか。

学校教育課長

施工の変更報告がなかったことと、村に専門職員がいなかったため、施工管理を任せている市町村建築研究所から指摘がなかったかと考えています。

議員

今回の事故で千葉県建築士事務所協会に委託して調査し、原因究明が進みました。技術者の確保は迫られていますので、村の建設事業で、たとえば建築士事務所協会のようなところに一時的に技術者を依頼することにも必要ではないかと申し上げて質問を終わります。

臨時保育士の業務委託はしないように

議員

臨時保育士の業務委託について伺います。

総務省通知では、臨時的任用職員の再任用について、勤務が1年を経過し、

その後も必要だという場合に「再任用については排除されるものではないが、新たな職に改めて任用されたものと整理されるものである」と書かれています。

国は1年を越えて正式な手続きで再任用した場合に、法律違反ではないとしています。

村は地方公務員法の1年の雇用期限に違反することから業務委託をすることを考えているのですか。

総務課長

そのように考えています。

議員

村は総務省通知に反する考え方をとっているのではないか。

総務課長

そういった解釈、通知があるということであれば、検討したいと思っています。

その他

「水口の排水対策について」の質問がありました。

# 国民健康保険の改善・充実を求める

鈴木 征男 議員

がなされると考えています。

## 国の保険者支援制度で 住民の負担軽減はどうか

議員

平成27年度、国の1700億円の保険者支援で、村の歳入増加はどれくらいか金額になるのか伺います。

住民課長

国支出が2分の1で、残りの2分の1を県・村がそれぞれ負担して合わせて700万円位とのことあります。

議員

具体的には、保険料が下がると言うことでしょうか。

住民課長

村全体として国の財政支援でおよそ6000万円と見込んでいます。

村の被保険者が約4800人ですので一人当たりすると1万円ちよつとの財政支援

議員

今年度国の支援額の算定方法の改正で、国庫負担分が拡充されました。

今年度の本算定に該当する村の1380世帯の7割軽減、5割軽減、2割軽減世帯の金額的な見込みをお聞きします。

住民課長

国庫分ですが、医療分支援分、介護分で7割軽減でおよそ1700万円、5割軽減で約900万円、2割軽減で360万円程度と言つことで国庫分は約3000万円と見込んでいます。

議員

3000万円は全部国の補助ですか。

住民課長

まず、軽減される金額に

対しての国の補助と、それと村全体の所得水準に対しての交付金があり、軽減分に対して先ほど申した金額7000万円を見込んでいます。

## 国保税軽減のため 一般会計から法定外 繰り入れを

議員

一般会計からの法定外繰り入れをおこない、国保税の軽減をおこなつことを求めます。

村長

他の社会保険などの加入者との公平性を考慮する必要があるです。

平成26年度に平等割、所得割を引き下げたこと、平成27年度も税率を据え置きました。

軽減判定の基準が拡大したことなど考慮しながら慎重に検討してまいります。法定外繰り入れによる引き下げは考えておりません。

議員

現在、県内で法定外繰り入れをおこなっている自治体はどれくらいでしょうか。

住民課長

千葉県内で法定外の繰り入れをおこなっている団体は31団体です。

議員

31団体の被保険者数は県全体の約8割にあたります。村は千葉県では2割の被保険者数に入ります。多数ではありません。

近隣では、大多喜町、いすみ市、東金市、長柄町などが法定外繰り入れをおこなっています。

村でも決断していただきたいと思ひます。

## 18歳未満の国保税 均等割の軽減を

議員

18歳未満の国保税の均等割軽減について検討をしてください。

現在、世帯の人数が多いほど保険料が高くなる仕組みです。

子どもの多い世帯の負担が重くなっています。

国会においても厚生労働委員会、子どもに関わる均等割保険料の軽減措置の導入に

ついで、塩崎厚労大臣が「地方団体からの提案がおこなわれているので検討してまいりたい」と答弁しています。村で3割軽減とした場合の財政上の試算をお聞きします。

住民課長

18歳未満の人数に均等割を乗じれば780万円、3割を軽減した場合の試算ではおおよそ240万円です。

議員

村長、18歳未満の均等割軽減を検討していただきたい。

村長

高校生以下すべて村の宝です。

今後おこなつてゆく子育て支援の中でも医療費を高校生まで無料化にしようとか、いろんな策と合わせて一緒に検討させていただきます。

## その他

「地震・津波避難道路について」の質問がありました。



# 村民の防災・防犯意識の高揚を！

山口 裕之 議員

## 防災訓練について

議員

津波避難施設が完成したが、施設を活かした防災避難訓練の具体的な考えがあるのか伺います。

村長

本年度は、10月18日の日曜日に実施予定です。

議員のお考えのとおり、津波避難施設3施設を、津波からの一時避難場所として使用し、避難方法・避難時間の確認や、施設の設備などの使用方法を確認していただきたいと考えています。

併せて避難行動要支援者の方が安全に避難できるか、地元消防団の協力を得て、車椅子などでの避難を実践し、避難時間などを検証することを考えています。

議員

村民が、それぞれの場所で自身の安全確保をおこない、発災時の基本行動を確認し「自助」の高揚を促すことを目的とした「シェイクアウト訓練」をおこなう考えはないか。

村長

職員は、定期的にシェイクアウト訓練を実施しています。

今後は、住民周知をはかり、村の防災訓練と連動して実施できるよう検討します。

議員

「シェイクアウト」の住民の認知度や周知の方法について伺います。

総務課長

発災時に、自身の身を守る動作を、随時お話ししますが、それがシェイクアウトということは浸透していないと思います。

今後は、イラストなどを

使い、広報などで、啓発したいと考えています。

## シェイクアウト訓練 身を守る3つの動作！



## 青少年を犯罪・事故・自殺から守る 取り組みについて

議員

本校の小中学校児童生徒への「夏休み、休日の過ごし方」の指導はどのようにおこなってきたのか伺います。

教育長

千葉県教育委員会から配布されている「夏季休業日における生徒指導上留意すべき事項」をもとに指導をしています。

議員

「休日や夏休み中の事故や自殺を防ぐ取り組み」について、実施してきたことは何か。

教育長

夏季休業中に各学校で、補習授業としてサマーセミナーを昨年度から実施しています。

児童生徒の今年度の延べ参加者は、一松小学校では150名、八積小学校では380名、高根小学校では230名であり、長生中学校では1500名でした。

部活動など、職員が児童生徒と顔を合わせる機会を多く設け、参加していない児童生徒や、気になる生徒には、担当から連絡をとることを基本としています。

村の盆踊り大会や祭礼などの行事の折には、PTAと協力したパトロールを実施し、児童生徒が事件・事故に巻き込まれないように努めています。

議員

防犯への啓発や意識付けをおこない、自主・自立の防犯対策や青少年の健全育成の推進に繋げる「青少年防犯ボランティア」を実施する考えはないか。

教育長

本村は、青少年相談員連

絡協議会で「青少年相談員ジュニアリーダー」を募集し、今年度は、小学生42名が初級認定講習を修了、中学生は60名が登録されています。

他の市町でも実施しており「青少年相談員ジュニアリーダー」の児童生徒を中心に「青少年相談員連絡協議会」の事業として警察署や交通安全協会、PTA連絡協議会の協力を得て実施できればと考えています。

議員

児童生徒・学校・PTAなど、地域と連携した防犯訓練やセミナーの開催も必要ではないか。

学校教育課長

各学校では、警察や外房少年センター、スクールサポーターに依頼し、不審者対応避難訓練を児童生徒に対して実施しています。

警察官による不審者に遭遇した場合の対処方法などに関する講話やDVD鑑賞、ロールプレイングによる演習もおこなっていますが、地域を含めた防犯訓練は必要と思われ、今後、関係機関に働きかけます。

# 災害協定の締結状況は

井下田 政美 議員

**議員**

現在、村は多くの企業団体と災害協定を結んでいますが、今後さらに民間の力を積極的に活用するために協定を締結する必要があると思います。

今後、締結を検討している企業などがありましたら、教えて下さい。

**総務課長**

今後協定を結ぶ予定ですが、村内にある民営老人福祉施設と、福祉避難所として災害協定を検討しています。

また、福祉用具の供給や、アマチュア無線団体との通信確保に関する協定についても検討中です。

今後は、本村に所在するスーパーマーケット、ドラッグストアなどの協定についても調査研究して

まいります。

**議員**

災害協定には自治体間災害協定もあります。

過去に何度か質問しましたが、いまだ協定締結に至っていませんが、その理由をお聞かせください。

**総務課長**

村はできれば姉妹都市としての提携を含めて検討してきました。

しかしながら、具体的な交渉をするまでには至っておりません。

今後は災害協定のみを視野に入れて、新たに検討していきたいと考えています。

**議員**

県内のほとんどの自治体は遠隔地自治体と協定を結んでいます。

自治体の中には、複数の遠隔地自治体と協定を結んでいるところも少なくありません。

今後、積極的な対応をお願いします。

## ボランティアポイント制度の進捗状況は

**議員**

ボランティアポイント制度は、介護予防を目的とした65歳以上の高齢者が介護施設などでボランティア活動をおこなった場合、自治体がポイントを付与するもので、たまったポイントに応じて商品との交換や、換金のほか介護保険料の支払いに充て、保険料の軽減に利用できる制度です。

昨年9月会議で質問した際、前向きな答弁をいただきましたが、その後どのような検討をされたのか、伺います。

**村長**

本年2月、先進地稲城市を視察し、本村の特性などを考慮しながら検討してい

るところです。

**議員**

先進地の稲城市における運用状況と、実績は分かりますか。

**福祉課長**

稲城市の平成26年度の実績は、ボランティアの活動先は全部で22団体、介護予防事業や社会福祉協議会の事業、ほか19の福祉施設が対象です。

対象年齢は、65歳以上の方で登録者数は623名です。

交付金の上限額は1人当たり5千円で、稲城市における保険料の抑制効果は、平成24年度で1人当たり約10円の抑制効果があったと試算しています。

**議員**

現在村で検討しているポイント制度の内容について教えてください。

**福祉課長**

稲城市の制度を参考に、現在内部で検討中ですが、村の福祉事業をはじめ、村内の福祉施設におけるボラ

ンティア事業を対象に考えています。

また、長生村独自として今協議しているのが、65歳未満のボランティアの方も対象として、地域貢献していただいている方に活動の奨励、奨励支援をしたいと考えています。

**議員**

ありがとうございます。しっかりと検討していただき、保険料の抑制効果が期待できるポイント制度の運用をお願いします。

## その他

「GISについて」と「認知症対策について」と「避難所運営ゲーム・災害図上訓練について」の質問がありました。





# 議会活動の報告

## 地震・津波避難訓練



竜宮台築山公園の様子

10月18日(日)午前9時から地震津波避難訓練がおこなわれ、議会も訓練に参加しました。

今年は、従来に加え津波避難施設として、2カ所の築山(城之内築山公園、竜宮台築山公園)と驚地先に集会所併用型施設(一松北部コミュニティセンター)3カ所が一時避難施設として完成しました。

これらは高さ海拔10メートル超で、トイレ・非常用備蓄倉庫が設置され、地域住民や観光客の生命を守るための一時避難所です。

議会議員も各避難所に向き、訓練の状況や問題点の調査をおこないました。

## 村内の状況を視察

### ■浸食被害が深刻な一松海岸

一松海岸は、海水浴場、夏期の「海の家」の営業、村民の散策の場として貴重な資源です。

若者のサーフィンも人気があります。

一松海岸の浜の砂が大量に流出した事態を受けて、議会は9月17日に現地視察をおこないました。

案内の産業課の説明では、8月の台風11号・16号および7月の大潮の高波などで甚大な被害を受けたとのこととです。

今後、村および議会として対策が急がれます。



侵食により崩落した駐車場

### ■小学校に空調を整備

村内3小学校の普通教室は、9月から小学生が快適な環境で学習に取り組むことができるようになりました。

9月17日、議員が一松小学校のエアコン設置の教室を視察しました。

学校教育課の案内で見学し、エアコン方式は、夜間につくった氷を昼間の冷房に利用することでエネルギーを効率よく使うことができる氷蓄熱システムであり、ピーク時の消費電力を削減すると説明を受けました。



被害を受けた海の家

## 議員・職員合同研修会

10月2日、長生郡町村議会議員・事務局職員の合同研修会が開催され、来賓として衆参両院の国会議員をはじめ、各町村長が出席されました。

研修会では、講師に内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長 新井毅氏を招き「まち・ひと・しごと創生の実現に向けて」と題して、講演がおこなわれました。

新井氏は、地方の人口減少施策として、地方創生総合戦略で効果的・効率的な行政まちづくりについて熱心に話され、大変有意義な研修をすることができました。



一松小学校を視察

## 議長・議員が出席または参加予定の主な行事

9月

5日 長生村少年の主張大会  
 8日 議会運営委員会  
 15日～17日 議会定例会9月会議  
 15日 議会だより編集特別委員会  
 17日 議会改革特別委員会  
 21日 長生村敬老ながいき祭り  
 29日 議会だより編集特別委員会

10月

1日 長生郡市広域市町村圏組合決算審査特別委員会  
 2日 長生郡町村議会議員・事務局職員合同研修会  
 14日～15日 長生郡市広域市町村圏組合議会行政視察  
 18日 地震・津波避難訓練  
 20日 議会だより編集特別委員会  
 21日 長生中学校防災講演会  
 24日 長生郡市障害者スポーツ大会  
 27日 長生村津波避難施設落成式  
 29日～30日 長生郡町村議会議長会研修視察

11月

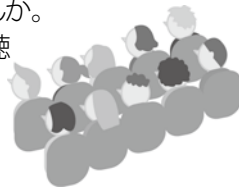
1日～3日 長生むら文化祭  
 3日 長生村産業まつり  
 4日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会  
 9日～10日 決算審査特別委員会  
 11日 全国町村議会議長大会  
 18日 決算審査特別委員会  
 18日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会  
 20日 千葉県町村議会議長会定例会及び議長・副議長研修会  
 26日～28日 議員派遣（宮城県山元町・仙台市若林区）

12月

1日 長生郡市負担金審議会  
 2日 議会運営委員会  
 7日 消防委員会  
 8日～11日 議会定例会12月会議（予定）  
 9日 長生郡市広域市町村圏組合議会

### 皆さんも議会を傍聴しませんか!!

議会は、村民の皆さんの声を村政に反映させる場です。審議がどのように行われているのか、傍聴しませんか。傍聴席は先着順で32席です。当日、役場の3階傍聴席入り口で、氏名等を記入していただきます。次の「議会定例会12月会議」は12月8日(火)から開催の予定です。



議会だよりに対する  
ご意見ご感想を  
お寄せください。  
お問い合わせは下記まで。



長生村議会事務局  
直通:32-4744 FAX:32-1194



### 編集後記

2日続けて日本人が受賞した、今年のノーベル賞。印象的だったのは、受賞者の謙虚な振る舞いである。失明の恐れがある寄生虫病などの治療薬として、年間3億人を救っている「イベルメクチン」の開発に貢献した大村智さん。医学生理学賞の受賞会見の第一声は「私の仕事は微生物の力を借りているだけのもの」だった。ニユートリノに質量があることを証明し、物理学賞に輝いた梶田隆章さんも、研究の先輩・小柴昌俊氏らがいて、今回の受賞があると感謝を語った。2人が謙虚なのは人柄もあると思うが、化学が「積み上げ型」の学問であるからだろう。新たな発見や開発は、必ず先行研究の「恩」を受けている。箴言に「わたしは有能な人たちが恩知らずであった例をしらない」とある。私たちが恩を知り、恩を自らの力に変える人に成長していきたい。

